認知症に関する活動計画（概要）

兵庫県作業療法士会では，特設委員会として設立された認知症対策委員会を中心に関連する活動を展開している。2022年度には、例年の人材育成事業に加えて、認知症の人と家族の会との共同企画の再開や、会員の認知症関連の地域活動に対する実態調査などを行った。2023年度の委員会活動では、コロナ感染による行動制限の影響が薄まる中、①作業療法士の人材育成の継続②昨年度から再開している認知症の人と家族の会やその支援者と連携を図る事業の継続③「神戸市認知症地域支えあい推進事業」への支援④県士会会員の地域での認知症関連の活動の実態に関する調査の4項目を中心に進める予定である。人材育成事業に関しては、これまで継続してきた、ステップアップ形式の研修を今年度いっぱいで見直し、次年度からリニューアルした形で展開することを計画している。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

2023年度は、認知症の人と家族の会とのミーティングを開催しており、さまざまな意見交換をしている。その中で、まとまった企画として、9月に街頭での認知症に関する啓発活動に参加することを予定している。また、認知症の人と家族の会主催の講演会を後援団体としてサポートする。

認知症の人と家族の会との連携事業

2022年度には、コロナウィルス感染拡大防止の観点からそれまで止まっていた認知症の人と家族の会との共同事業を再開させた。話し合いの結果、11月にウォーキングイベントを共同で運営することとした。このイベントでは、認知症の当事者の方やその支援者の方は勿論のこと当会の会員も家族連れの参加ＯＫなど、気楽に参加できるように配慮し、これまで地域で認知症の方にかかわったことのない当会の会員の地域活動の経験につながるよう企画した。残念ながら、当日は雨天のため、中止となったが、本年度も共同企画のイベントを継続するととなっている。2023年度は、認知症の人と家族の会の主催の若年認知症の集いに、当会からボランティアとして参加し、今後どのような形で、支援できるのかを検討する材料としていく予定となっている。

神戸市認知症地域支えあい推進事業の講師養成研修

2022年度より、「神戸市認知症地域支えあい推進事業」の講師ができる人材の育成を行っている。これは、地域における認知症についての理解を深める学習会の開催や、認知症予防の取組みを支援するための事業で、地域に派遣される専門職の講師を養成することが目的で、現在20人余りの講師を育成してきた。事業は、神戸市に在住するか、職場があるセラピストが対象となるが、当士会では、広く会員に呼びかけ、地域支援事業に関する情報交換会も同時に開催し、地域での認知症支援の輪を広げる研修として進めていきたいと考えている。